

令和6年度第6回

浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和7年1月23日（木） 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所 3階 32会議室

3 出席状況

| エリア連絡会名 | 所属 | 出席者氏名 | | |
|-------------------|------------------|-----------|--------|--------|
| 中エリア連絡会 | 中障がい者相談支援センター | 藤川 晴海 | | |
| | 中央福祉事業所社会福祉課 | 成瀬 香 | | |
| 東エリア連絡会 | 東障がい者相談支援センター | 平野 明臣 | | |
| | 中央福祉事業所（東）社会福祉担当 | 中谷 知由 | | |
| 西エリア連絡会 | 西障がい者相談支援センター | 袴田 章彦 | | |
| | 中央福祉事業所（西）社会福祉担当 | 杉森 泉 | | |
| 南エリア連絡会 | 南障がい者相談支援センター | 大場 拓弥 | | |
| | 中央福祉事業所（南）社会福祉担当 | 欠席 | | |
| 北エリア連絡会 | 北障がい者相談支援センター | 金森 勇人 | | |
| | 浜名福祉事業所（北）社会福祉担当 | 梶田 和彦 | | |
| 浜北エリア連絡会 | 浜北障がい者相談支援センター | 大柳豆 勇太 | | |
| | 浜名福祉事業所社会福祉課 | 島田 佐栄実 | | |
| 天竜エリア連絡会 | 天竜障がい者相談支援センター | 那須 将司 | | |
| | 天竜福祉事業所社会福祉課 | 小木 美澄 | | |
| 医療的ケア児等支援コーディネーター | | 阿部 祥美 | | |
| | | 高 真喜 | | |
| 事務局 | 障がい者基幹相談支援センター | | 後藤 翔一朗 | |
| | | | 玉木 祐次郎 | |
| | | | 野島 和樹 | |
| | | | 小杉 茉巳 | |
| | | | 本宮 早奈映 | |
| | 障害保健福祉課 | 企画・相談グループ | | 大庭 靖史 |
| | | | | 白柳 麻衣子 |
| | | | | 鈴木 史哉 |
| | | | | |

4 議事内容

- (1) エリア活動報告について
- (2) 日中サービス支援型GH中間報告について
- (3) 専門部会報告について
- (4) 共同支援会議について（中エリア、浜北エリア）
- (5) 次年度の体制について

5 会議録作成者 障害保健福祉課企画・相談グループ

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) エリア活動報告について

資料を元に説明

【意見及び質疑応答】

- ・北エリアにおける強行ワーキングについて、ケースについて参加者と共有を行いながら、エリア内でのネットワークづくりが出来ているため本取組は継続していただきたい。
- ・浜北エリアのネットワーク会議については参加者が非常に多いので、協議会との連携を図りながらどのように進めていくかが課題である。
- ・南エリアにおけるフラワーミーティングについて、余暇の話が当事者から意見が出た。関心が非常に強いと感じた。
- ・南エリアにて次年度のこどもの支援に関するワーキングを開催して、形作りをしていく。次年度を準備期間として、こどもに関する協議をできる場を整えながら、事業所等へ聞き取りをしながら、次年度については、課題の抽出を行っていく予定。
- ・東エリアにて数年前にこども部会をつくるという動きがあったが、児童発達支援センターと放課後デイサービスを交えた「繋がろう東区」にて事例検討会を行っている。次年度は、課題を抽出できるように動いていく予定。

(2) 日中サービス支援型GH中間報告について

資料を元にエリア連絡会からの助言について報告

【意見及び質疑応答】

- ・東エリアではエリア側が主体的に動くことで、グループホームも動いてはくれるが、グループホーム側の主体性を感じない。
- ・中エリアでは、グループホームに関するプロジェクトの企画運営のメンバー

- にグループホーム側も参加してもらい、主体性を持ってもらうよう工夫した。
- ・西エリアでは日常の相談については問題ないと感じている。日頃の課題について連絡を取り合うことで、主体性を意識してもらえればと考えている。
 - ・南エリアにおいても、グループホームの主体性は課題として感じている。今年度管理者が変わったので、日中サービス支援型GH評価についての説明を行った。事例検討会についても開催できたが、回数を重ねるまではエリアから働きかけを行っていく。
 - ・北エリアとしては、中間評価についてグループホーム側も動きづらい部分があったと感じているため、今年度はエリア側が主体となり働きかけを行った。回数を重ねることでGH側も主体性をもって動いていくことができているように感じる。今後もエリア連絡会と連携しながら動いていく。
 - ・浜北エリアでは制度がグループホーム側に浸透していないと感じている。制度について説明をする必要がある。事業所側に主体性を強要することも難しいと感じている。次年度から地域連携推進会議があるので、主体性をもって活動してもらうようにサポートしていく。

(3) 専門部会活動報告について

【こども部会】

- ・こども部会を1/23に開催する
- ・強度行動障がいに係る働きかけは来年度にも継続して活動していく
- ・こども部会における研修については次年度に3回程度開催を予定している

【生活部】

- ・生活部会を2/5に開催する。
- ・部会内では、委託相談評価に関する部分とワーキングの活動報告を行う予定。
- ・防災ワーキングは1/30に第4回を予定している。
- ・余暇支援ワーキングは今後開催予定

【就労部会】

- ・就労部会を1/17に開催した。
- ・令和7年10月には就労選択支援が始まることに伴い。就労系の事業所にあつまってもらい意見交換会を行った。就労アセスメントについての意見交換を行った。就労アセスメントはアセスメントを行う者に依存する部分が多い。質の担保が必要。
- ・就労アセスメントワーキングは終了し、就労選択支援ワーキングに繋げていく。

(4) 共同支援会議

資料を元に中エリア、浜北エリアが報告を行った。

【中エリア】

- ・大人の医療ケアがある方への対応は課題。課題としては継続案件となるため、地域に同様の課題があるかを抽出し検討していく。
- ・医療的ケア児等相談支援センターは各地域の実態を次年度に実施予定なので今回のケースの件で意見をいただけない。
- ・今回のケースについては、緊急時対応が必要になる場合も想定されるため、ケースの追跡をしていく必要がある。

【浜北エリア】

- ・本人のストレングスを活かした支援を行っていききたい。
- ・本人の描いている希望と母が希望している事項について具体的に聞き取りを行っていく。今後の余暇支援ワーキングで今回のケースについて共有していただきたい。

(5) 次年度の体制について

- ・専門部会については、相談支援部会を立ち上げて相談支援体制について検討していく。
- ・強行プロジェクトについて強度行動障害についてこども部会と生活部会で現在、検討している事項を横断的検討が出来るようにプロジェクト化していく。

次回企画会議

日時：3月6日（木）10時～

会場：32会議室